

大学及び大学共同利用機関の研究力強化に 必要な課題及び対策に関する調査

文部科学省(研究振興局大学研究基盤整備課)公募事業

研究基盤協議会 理事
榎 飛雄真

調査の目的と内容

背景

- 研究力強化に向けた政策を総合的に推進する中、各大学等による取組みに加え、大学間等の連携の取組みも講じられつつある
- 基本となる政策を中長期的に企画・立案・推進するには、大学等の個別の研究体制や研究基盤の実態、大学共通的な課題、連携に関する課題の把握が必要

目的

大学及び大学共同利用機関の研究力強化の課題や実態を把握し、エビデンスに基づく合理的かつ有効な政策を形成

【各大学等の取組み推進】

研究IR、研究推進体制、研究基盤（設備・支援人材等）のマネジメント状況

【連携の促進】

全国的な観点からの研究組織、研究設備等の学術研究基盤の現状と課題



【エビデンスや対策の整理】

- 今後の研究力強化に資するエビデンスの整理
- 国際発信を通じた大学等の研究力強化に必要な課題・対策の検討・整理

調査テーマ

- | | | | | |
|----------------------|---------------------------|----------------------------|--------------------|--------------------|
| A. 研究力の把握・分析及びEBPM関係 | B. 各大学等における研究マネジメントの現状・実態 | C. 研究力に資する研究活動と研究力強化との関係分析 | D. 全国的な観点からの研究力の分析 | E. 我が国の研究力の国内外への発信 |
|----------------------|---------------------------|----------------------------|--------------------|--------------------|

受託・参画機関



公益財団法人

未来工学研究所

INSTITUTE FOR FUTURE ENGINEERING

受託機関

- 未来の社会経済事象、科学技術の諸相、それらが複合した経営と政策の諸課題に取り組む。
- それらの解決に資する方策を工学的手法で追究する。
- 各種の調査研究事業を展開。

参画機関

RUC

Research University Consortium
研究大学コンソーシアム

- 研究力強化に取り組む大学及び大学共同利用機関法人がコンソーシアムを形成し、各大学等における先導的取組や課題の発信・共有によりネットワーク化を推進
- 構成機関：41大学等



参画機関

参画機関



一般社団法人
研究基盤協議会
Council of Research Infrastructures and Research Environment

- 宇宙、エネルギー、物質、生命等に係る大学共同利用機関と直轄の2つのセンターを設置・運営し、世界を牽引する最先端研究を推進

調査項目と調査方式

テーマ	調査項目
A. 研究力の把握・分析及びEBPM関係	事例調査
B. 各大学等における研究マネジメントの現状・実態 事例調査	1) 各大学等における研究マネジメントの組織体制（全学的な研究推進体制、研究支援・研究基盤組織等） 2) 各大学等のデータサイエンスやデータ駆動研究等学術情報流通に資するマネジメント 3) 高度専門職人材に関するキャリアパスや育成、2つ以上の大学間での人材流動化等 4) 各大学等における研究設備のマネジメント（戦略的設備整備計画等）の現状 5) 各大学等における財務戦略上の研究基盤戦略の課題や好事例
C. 研究力に資する研究活動と研究力強化との関係分析 事例調査	1) 各大学等が設置する研究所・研究支援施設の研究活動に関する好事例と、当該活動等に基づく研究実績と研究力分析指標との関係性 2) 専門職人材による研究支援を含めた研究設備・機器の共用取組・体制に関する好事例と、当該取組等に基づく研究成果と研究力分析指標との関係性 3) 共同利用・共同研究体制に基づく研究成果と研究力分析指標との関係性 4) オープンサイエンス、オープンアクセス（ICTを活用して行う学術論文の自由かつ無料による利用）等に基づく研究成果と研究力分析指標との関係性
D. 全国的な観点からの研究力の分析 事例調査 アンケート調査	1) 各大学等の共通基盤として従来大学等の要望に基づき整備されてきた、各研究分野の最先端かつ一定規模を要する研究設備で、国が整備方針を持って整備すべき設備（中規模研究設備） 2) 中規模研究設備の研究分野ごとの種別・金額規模 3) 中規模研究設備の各大学等における整備状況・現存状態、中規模設備の整備・更新に関する課題 4) 中規模研究設備の整備・運用の観点における日本以外の海外政府の整備方針の国際的な動向 5) 中規模研究設備の整備・更新機能を担ってきた研究組織等の役割・実態と課題 6) 中規模研究設備に伴う研究開発の実態・分析（研究者や企業の関わり） 7) 当該研究開発を伴う技術や技術職員の現状と課題 8) 2つ以上の大学間における研究組織等の連携の好事例や研究力強化における効能の調査・分析（新たな研究領域の開拓、人材育成、高度専門職人材のネットワーク化等） 9) 産学官等セクター間の連携によって新たな異分野融合を生み出すための取組に係る好事例
E. 我が国の研究力の国内外への発信	事例調査

今後の調査とお願い

事例調査

対象

各テーマにおける好事例を有する国立大学及び大学共同利用機関

方式

各機関のURAなどを通して、ヒアリングとレポート作成

アンケート調査

対象

中規模研究設備を有する国立大学及び大学共同利用機関

「中規模研究設備」とは？

各大学等の共通基盤として従来大学等の要望に基づき整備されてきた、各研究分野の最先端かつ一定規模を要する研究設備で、国が整備方針を持って整備すべき設備

- ・ 1億円以上
- ・ 共同利用を前提とした設備

方式

各機関の事務組織を通して、アンケートフォーマットを配布・回収

【お願い！】

- ・ 1月末から調査依頼を各大学に配信予定。
- ・ 各大学の機器管理組織にも回答依頼がある見込み。ぜひご協力を！